

ツアー番号
LKNTPSEKAW

セイロン・エンディアメント(27日間)

22日間・21泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この27日間のツアーはスリランカ全域を南部のビーチから丘陵地帯、文化三角形を経由して北部および北東沿岸を巡り、コロンボに戻ります。ヒッカドゥワ、ゴール、ミリッサ、ヤラ南部を通り、エッラ、ヌワラエリヤ、キャンディの高地へ登り、ダンブッラ、シギリヤ、ポロンナルワ、アヌラーダプラの古代都市をカバーしてから、北部のトリンコマリーとジャフナに向かい、コロンボとネゴンボで終了します。

旅行者はこの島の本当の横断面を体験できます。南海岸の植民地時代の砦と竹竿漁師、ヒョウとゾウのサファリ、紅茶畑を通る風光明媚な列車の旅、シギリヤの岩の要塞と文化三角形の廃墟となった都市、ジャフナ周辺のヒンドゥー寺院と戦争記念碑、トリンコマリー沖のクジラ観察とサンゴ島、そしてコロンボでの都市生活の最後の味わいです。ペースはゆったりしており、ビーチタイム、ハイキング、またはある地域を深く探索するための複数日の滞在が組み込まれています。

このツアーは専用車と運転手兼ガイドで全行程を運行され、各立ち寄り地点間の移動とロジスティクスを処理するため、海岸から高地へ、古代都市へ戻ると、旅行者が移動手段を手配することなくイテラリーを動かすことができます。



日程詳細

1日目 ヒッカドゥワ&ガッレ(1〜3日目)

空港到着後、ビーチリゾート地ヒッカドゥワへ移動し、その後は植民地時代の面影を残す古都ガッレとその周辺を1日かけて探訪します。



ヒッカドゥワ

サンゴ礁に縁取られたビーチで知られる、ガッレ南部州のビーチリゾートタウンです。到着・チェックイン後は、ビーチリゾートでゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

Astronomyinertia · CC BY-SA 3.0



ガッレ・フォート

かつてポルトガルとオランダが拠点を置いた旧植民地都市を探索します。アジアでも屈指の保存状態を誇る要塞、ガッレ・フォートを中心に、博物館や灯台を訪れ、オランダ語由来の名を持つ石畳の通りを歩きます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0



ハンドゥヌゴダ紅茶工場

別名「ヴァージン・ホワイトティー工場」とも呼ばれ、人の手に一切触れずに摘み取り・加工される、かの有名なヴァージン・ホワイトティーが生まれる場所です。見学後は紅茶とチョコレートケーキの試飲・試食タイムがあり、茶葉の購入も可能です。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ルマッサラの丘

ガッレの東3キロメートルに位置する丘で、頂上には白い仏塔がそびえ、ウナワトゥナ・ビーチのランドマークとして知られています。伝説では、ハヌマーンがドロナギリ山を運んだというラーマーヤナの物語とこの岩が結び付けられており、シータが身を寄せた場所であったとも言われています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



高床式の漁師(ストリルト・フィッシャーマン)

コッガラ近郊の沖合で、高い棒の上に腰掛けて漁をする漁師たちの姿を見学します。何世代にもわたり受け継がれてきたこの漁法について、漁師自身から話を聞くこともできます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

4日目 ミリッサ(4〜5日目)

三日月形のビーチで知られるミリッサで、2日間のんびりとお過ごしいただきます。ご希望に応じて周辺の見どころを訪れることもできます。



ミリッサ・ビーチ

ウェリガマ湾の東端に広がる三日月形のビーチで、黄金色の砂浜と揺れるヤシの木々が、まるで隔絶された島にいるかのような雰囲気を演出します。近隣にはパロット・ロック、シークレット・ビーチ、タートル・ポイント、ココナッツ・ツリー・ヒルなどの見どころがあります。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

6日目 ヤーラ(6〜7日目)

ウミガメの保護活動や珍しい海岸風景を巡りながらヤーラへと向かい、その後はスリランカ屈指の名を誇る国立公園で終日サファリを楽しみます。

ウミガメ孵化場

レカワでは、スリランカの海岸に産卵に訪れる絶滅危惧種のウミガメ5種について学び、日中のウミガメ観察に参加できるほか、数時間、孵化場でのボランティア活動を体験することもできます。



ウサンゴダ

蛇紋岩に有毒な重金属が含まれているため植物の生育が限られ、ごく一部の適応種のみが生える、むき出しの海岸台地です。地元の伝説では、この地の焼け焦げたような地形もまた、ハヌマーンとラーヴァナ王のラーマーヤナの物語に結び付けられており、かつてラーヴァナの戦車の発着場として使われていたとも言われています。

A.Savin · FAL



ヤーラ国立公園

スリランカ南東部の海岸に位置する、島内第二の広さを誇る国立公園で、終日サファリを楽しみます。スリランカヒョウ、野生のスイギュウ、ナマケグマ、ゾウの群れをはじめ、豊富な種類の鳥類、爬虫類、その他の野生動物を探します。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

8日目 エッラ&ヌワラエリヤ(8〜10日目)

内陸の高原の町エッラへ向かい、古代彫刻の見学とハイキングを楽しんだ後、絶景の列車の旅で高原地帯を抜け、植民地時代の面影を残す高原リゾート、ヌワラエリヤへと向かいます。



ブドゥルワガラ寺院

大乗仏教に属する、10世紀に建立された7体の仏像からなる古代仏教寺院遺跡群です。最大の仏像には、かつて漆喰で仕上げられ彩色されていた衣の痕跡が今も残り、近くにある一体の像は観音菩薩(アヴァローキテーシュヴァラ)を表していると考えられています。

Vishvax (talk) (Uploads) · CC BY-SA 3.0



エッラ

茶畑や岩肌の広がる道を歩きながら、リトル・アダムス・ピークを望む町とその周辺を散策します。ナイン・アーチ・ブリッジを渡り、珍しいループ線で知られるデモダラ駅で見学を終えます。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

エッラ・ロック

この地域で最も高い展望地点の一つへ向かう3時間のハイキングで、途中ナムヌクラ山脈やリトル・アダムス・ピークの眺めを楽しめます。頂上からは、バンダラウェラ山脈、プーナガラ丘陵、ナランガラ、エッラ・ギャップなどのランドマークを望むことができます。



絶景列車の旅

ハプタレーからヌワラエリヤまで、山々、滝、茶畑を抜けて走る列車の旅で、道中には霧に包まれた小さな村々が点在します。

Chamal N · CC BY-SA 3.0



ヌワラエリヤ

19世紀から20世紀初頭にかけて、英国人の主要な避暑地として栄えた高原の町で、通り沿いにはコテージや邸宅、屋敷が立ち並びます。赤レンガ造りの古い郵便局、クイーンズ・ビクトリア公園、グレゴリー湖の湖畔などを訪れます。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

11日目 キャンディ(11〜12日目)

紅茶工場と滝に立ち寄りながらキャンディへ向かい、その後は市内の文化舞踊ショー、寺院、植物園を巡ります。

紅茶工場見学

稼働中の紅茶工場と茶園を訪れ、セイロンティーがどのように作られるかを見学します。紅茶は1850年代、英国人ジェームズ・テイラーによってキャンディ近郊のルーレコンデラ農園で初めて商業栽培が始められました。茶の苗木は中国から持ち込まれ、ペラデニヤの王立植物園で試験栽培されたものです。



ランボダの滝

スリランカで11番目に高い滝、ランボダ滝を訪れます。近隣のマックウッズ紅茶園ではガイド付きツアーが行われ、茶の種類や加工工程について学ぶことができます。

A.Savin · FAL



キャンディ伝統文化ショー

1時間にわたるスリランカ伝統芸能のパフォーマンスで、火の踊り手、剣の踊り手、太鼓のリズムに合わせて踊るキャンディアン・ダンサーたちが登場します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0



仏歯寺

16世紀に建立され、仏陀の聖なる歯の遺物を安置・守護するために建てられたユネスコ世界遺産です。彩色された大広間、彫刻を施した柱、金箔を施した仏像などをご覧いただきます。

A.Savin · FAL



王立植物園

19世紀初頭に設立されたペラデニヤの王立植物園には、ラン、香辛料、薬用植物をはじめとする4,000種以上の植物が植えられており、キャノンボールツリーや吊り橋も見どころです。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

13日目 ダンブッラ(13〜15日目)

カルチュラル・トライアングルへ入り、湖とスパイスガーデンを訪れた後、シーギリヤ、ミンネリヤ、ポロンナルワ、ダンブッラといった主要な見どころを巡ります。



センブワッタ湖

エルカドゥワ近郊にある天然の湧水湖で、地元では水深30〜40フィートに達すると言われており、湖畔には天然のプールもあります。

Sivanandhan Dishanthan · CC BY-SA 4.0



スパイスガーデン

コリアンダー、唐辛子、シナモン、カルダモン、ナツメグなどを栽培するスパイス・ハーブ園のガイド付きツアーです。伝統的な料理のデモンストレーションや、ロティ・カレー粉作りのワークショップも行われます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



シーギリヤ・ロック・フォートレス

カーシャパ王によって築かれた5世紀の岩の要塞を登ります。遺跡名の由来となったライオンの前足の間を通って入場し、有名なフレスコ画、段状の庭園、今なお機能する貯水池、宮殿へと続くトンネルなどをご覧いただきます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



シーギリヤ村めぐり

シーギリヤ近郊の伝統的な村を訪れ、牛車に乗ったり、村の湖でカタマランを使ったサファリを体験したり、水田地帯を歩いたり、料理のデモンストレーションを見学したりします。その後、蓮の葉に盛られた手作りの昼食をいただきます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ミンネリヤ国立公園

5月から10月の乾季に最大150頭ものゾウが集まる「ザ・ギャザリング」で知られるミンネリヤでの3時間のサファリです。その他にも多様な哺乳類、鳥類、爬虫類を観察できます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0



古代都市ポロンナルワ

10世紀から13世紀にかけて栄えた、スリランカ第二の古代首都です。ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の池、ランカティラカ寺院、パラークラマバーフ王の像など、数々の遺跡を歩いて巡ります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀にさかのぼる石窟群、ダンブッラの黄金寺院です。5つの主要洞窟には仏陀の生涯を描いた壁画と数百体の仏像が安置されており、神王の窟(ディヴィヤ・ラジャ・レーナ)や大王の窟(マハー・ラジャ・レーナ)などがあります。複合施設の外には大きな黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

16日目 トリンコマリー(16〜18日目)

北東海岸に位置するトリンコマリーで、寺院、要塞、ビーチを探訪し、ホエールウォッチングや近隣の島々・遺跡への訪問も楽しみます。



コネスワラム寺院

インドの詩聖たちに称えられた古代寺院で、壁画にはその歴史が描かれています。洞窟の祠は紀元前1580年頃にまでさかのぼり、本殿の構造は紀元後400年頃から発展してきました。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



フレデリック要塞

1624年、解体されたコネスワラム寺院の石材を用いてポルトガル人により築かれ、後にオランダ人によって再建されました。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ニラヴェリ・ビーチ

黄金色の砂浜、ヤシの木、透き通った海が広がる、スリランカ屈指の美しいビーチの一つです。10世紀のタミル語の碑文には、このビーチがコネスワラム寺院への土地寄進の一部であったことが記されています。

Anton 17 · CC BY-SA 4.0



トリンコマリーのホエールウォッチング・サファリ

シロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを自然の生息地で観察する5時間のツアーです。博物学者のガイドが、それぞれの種の見分け方を解説してくれます。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0



ピジョン島国立公園

大小二つの「ピジョン島」からなる海洋公園で、サンゴ礁に囲まれ、繁殖するロックピジョンや多様なサンゴ・魚類の生息地となっています。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ティリヤーヤ・ワタダーゲ

かつて古代タミル仏教の中心地であった村で、仏陀が二人の商人に頭髪の遺物を授けた場所と伝えられるギリハドゥ・セーヤ仏塔や、最後のヴァンニヤール首長の一人の砦跡が残っています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

19日目 ジャフナ(19〜20日目)

北部半島へ向かい、ジャフナのヒンドゥー寺院、植民地時代の要塞、島の聖地を探訪します。



ジャフナ

スリランカ最北端に位置する都市と半島で、ナルール、ナーイナーティーヴ、マーヴィッタプラムなどの古代ヒンドゥー寺院、オランダ要塞、近年建てられた戦争記念碑、サラスワティ・マハル図書館、ナーガディーパ・ヴィハーラ、ジャフナ最後の王カンキリ1世の宮殿などが見どころです。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナーガディーパ島

ナイナーティヴ、ナーガディーパ、あるいは古代にはマニパッラヴァムと呼ばれたこの島は、ジャフナの北に位置し、蛇を信仰したナーガ族と結び付けられています。その歴史の痕跡は、ナイナーティヴ・ナーガプーシャニ・アンマン寺院やナーガディーパ・プラーナ・ヴィハーラに見ることができます。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0



ナイナーティヴ・ナーガプーシャニ・アンマン寺院

少なくとも2000年の記録された歴史を持つヒンドゥー寺院で、インドラ神信仰にまつわる伝説と結び付けられています。ドラヴィダ様式の建築には4つのゴープラム(塔門)、複数のマンダパム(柱廊)、山車などがあり、世界に64カ所しかないシャクティ・ピータムの一つとされています。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0

21日目 アヌラーダプラ

仏塔や僧院、聖地が広大な緑地に点在する、スリランカ最初の古代首都に立ち寄ります。



アヌラーダプラ遺跡都市

紀元後10世紀まで千年以上にわたりスリランカの首都であった地で、仏塔や僧院建築、池などが広大な敷地に広がっています。主な見どころには、かつて古代世界で最も高い建造物の一つであったジェータワナラーマ、スリー・マハー菩提樹、アバヤギリ僧院の遺跡などがあります。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0

22日目 コロンボ&ネゴンボ(22〜24日目)

コロンボでの市内観光とナイトライフでツアーの締めくくりとし、その後は出発前に空港近くのネゴンボのビーチでゆったりとお過ごしいただきます。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ガッレフェイス・ホテル、ガッレフェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館をはじめ、独立記念広場、競馬場、市内のショップなど、コロンボの名所を巡ります。

Gihanud2001 · CC0



コロンボのデイライフ

コロンボのビーチやデイクラブでは、週末のパーティー、カクテル、音楽が楽しめるほか、カジノや深夜まで営業するブティックレストランも充実しています。

Gihanud2001 · CC0



ネゴンボ

空港近く、西海岸に位置するビーチタウンで、何世紀も続く漁業のほか、ウォータースポーツや、沖合に沈む築50年の難破船を巡るダイビングも楽しめます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of, cost of fuel, parking & highway tolls.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges (Except for Credit Card Charges).

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.